

○水生生物モニタリング調査結果一覧（宇多川C）

＜宇多川C 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
C－6	○	○	○	○	○	○

＜宇多川C 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透視度（cm）
C－6	37.7764°	140.8877°	R6.8.27	10:10	10:28	22.7	22.9	砂	10Y3/2	なし	0.39	>50

＜宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
調査地点	緯度	経度	日	時刻												
C－6	37.7764°	140.8877°	R6.8.27	10:10	7.8	1.2	3.2	9.1	11.0	0.06	1.7	1	1.1	N.D. (0.0014)	0.0072	0.00090

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
C－6	37.7764°	140.8877°	R6.8.27	10:28	7.7	495	22.5	1.3	0.4	2.640	12.2	65.2	21.6	0.3	0.7		1.2	4.8	0.50	40	0.28

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<宇多川C 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
C-6	宇多川本流	37. 7764°	140. 8877°	R6. 8. 21	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0. 011	—	—	—	18	N. D. (3. 1)	18	—	
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	Stenopsyche marmorata	ヒゲナガカワトビケラ	84	0. 029	幼虫	—	—	—	5. 2	N. D. (1. 6)	5. 2	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	Macromia amphigena amphigena	コヤマトンボ	61	0. 019	幼虫(ヤコ)	—	—	3. 7	N. D. (1. 8)	3. 7	—	
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	Melligomphus viridicostus	オナガサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	Sieboldius albardae	コオニヤンマ										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	Davidius sp.	ダビドサナエ属										
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	Asiagomphus melaenops	ヤマサナエ										
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	Protohermes grandis	ヘビトンボ	28	0. 017	幼虫	—	—	—	3. 1	N. D. (2. 4)	3. 1	—
					節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	Procambarus clarkii	アメリカザリガニ	3	0. 028	未成体/成体	—	—	—	2. 8	N. D. (1. 7)	2. 8	—
					節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	Paratya improvisa	ヌカエビ	182	0. 057	未成体	—	—	—	2. 6	N. D. (0. 96)	2. 6	—
					節足動物	軟甲	エビ	モクズガニ	Eriocheir japonica	モクズガニ	19	0. 16	未成体	—	—	—	6. 9	N. D. (1. 1)	6. 9	—
					軟体動物	腹足	盤足目	カニナ	Semisulcospira libertina	カワニナ	30	0. 022	成体	—	軟体部	—	4. 2	N. D. (2. 0)	4. 2	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Opsariichthys platypus	オイカワ	35	0. 13	未成魚	—	—	—	2. 4	N. D. (0. 49)	2. 4	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Candidia temminckii	カワムツ	56	0. 30	未成魚	—	—	—	1. 9	N. D. (0. 32)	1. 9	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	トシジョウ	Cobitis biwae	シマドジョウ	15	0. 045	成魚	—	—	—	1. 8	N. D. (1. 1)	1. 8	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	Plecoglossus altivelis altivelis	アユ	113	0. 89	未成魚	—	—	—	15	N. D. (3. 4)	15	0. 19
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	Rhinogobius fluviatilis	オオヨシノボリ	36	0. 10	成魚	—	—	4. 5	N. D. (0. 91)	4. 5	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	Rhinogobius nagoyae	シマヨシノボリ										
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	Rhinogobius kurodai	トウヨシノボリ										
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	Rhinogobius sp.	ヨシノボリ属										
										粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0. 24	—	—	—

※ 1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※ 2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※ 3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※ 4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、 内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、 除去して測定した。

※ 5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40 μ mのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※ 6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※ 7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※ 8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。